

地域密着型金融の取組み

持続可能な社会の実現に向けて

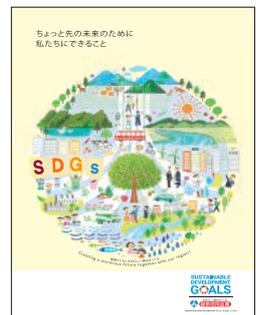
当金庫は、「経営理念」「ぎふしんSDGs宣言」「脱炭素化へ向けた取組み方針」に基づき、地域社会の課題解決を通じて、地方創生と持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ぎふしんSDGs宣言

1. 私たちは、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に尽力し、地域の課題解決を通じ、地方創生と持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。
2. 私たちは、地域金融機関としての役割を認識し、お客さまに対して、SDGsに関する情報を積極的に発信し、SDGsの普及に貢献してまいります。
3. 地方創生とSDGs金融の促進のため、注力するゴールを定め、活動強化に努めてまいります。
 - 持続可能な地域の経済成長のための活動
 - 持続可能な地域産業の基盤構築のための活動
 - 持続可能なまちづくりのための活動



「脱炭素化へ向けた取組み方針」の策定

地球温暖化による自然災害の発生等により、「持続可能な社会」や「脱炭素」への関心が高まっています。こうした中、当金庫は「金庫内における脱炭素化への取組み」と、「地域社会・お取引先の脱炭素化やサステナブルな経営実現に向けた取組み支援」を加速させ、地域金融機関として脱炭素化への取組みを主体的に行う「脱炭素化へ向けた取組み方針」を策定、公表しました。

ESG金融の推進

ESG金融の推進により、「カーボンニュートラルに繋がる取組み支援」や「SDGs経営に関する支援」に取組み、持続可能な社会の実現に貢献することで、地域の皆様に必要とされる金融機関を目指してまいります。

(1) 脱炭素化(カーボンニュートラル)に関する取組み

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて

2022年6月、お取引先企業の脱炭素化実現を支援するため、e-dash(株)(三井物産(株)の100%子会社)と業務提携し、お取引先企業のCO₂排出量可視化・削減支援のサービスを開始しました。2023年3月、お取引先企業の脱炭素化をファイナンス面から推進・支援する当金庫のサステナビリティ・リンク・ローンの融資フレームワークと実施体制が、サステナビリティ・リンク・ローン国際原則に整合していることについて、信用金庫業界で初めて、格付投資情報センター(R&I)より第三者評価を取得しました。

(2) SDGs経営に関する取組み

経営理念と「ぎふしんSDGs宣言」に基づき、これまでの事業活動をさらに拡大・推進し、地域社会の課題解決を通じて、地方創生と持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。2023年3月、お取引先企業のSDGsの推進をファイナンス面から支援する当金庫のポジティブ・インパクト・ファイナンスの実施体制が、ポジティブインパクト金融原則に適合していることについて、信用金庫業界で初めて、格付投資情報センター(R&I)より第三者評価を取得しました。



2022年度の活動報告

1. お取引先企業のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

(1) 経営相談件数全体の取組実績

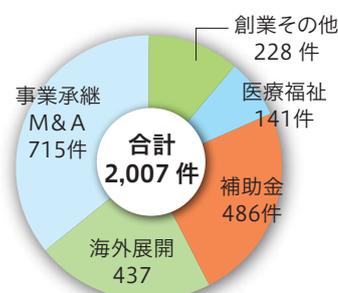


お取引先企業に対する経営相談は2,007件となりました。

長期的なお取引関係を通じて蓄積された情報や、外部専門家、外部機関等とのネットワークを活用することで、幅広い分野やライフステージに応じた適切なソリューションを提案してまいります。

経営相談の分野別割合

| | [件] |
|-----------|--------------|
| 創業・その他 | 228 |
| 医療福祉 | 141 |
| 補助金 | 486 |
| 海外展開 | 437 |
| 事業承継・M&A | 715 |
| 合計 | 2,007 |



共通ベンチマーク3 「金融機関が関与した創業、第二創業の件数」

| ベンチマーク(指標) | 実績 |
|------------|------|
| 創業融資 | 170件 |

共通ベンチマーク4 「ライフステージ別の与信先数(企業・事業者単位ベース)、及び、融資額」

| ベンチマーク(指標) | 全与信先 | ライフステージ | | | | |
|------------|---------|---------|--------|---------|--------|--------|
| | | 創業期 | 成長期 | 安定期 | 低迷期 | 再生期 |
| 与信先数 | 16,603先 | 1,939先 | 1,315先 | 9,938先 | 1,434先 | 1,025先 |
| 融資額 | 9,018億円 | 730億円 | 833億円 | 5,963億円 | 544億円 | 625億円 |

※「金融仲介機能のベンチマーク」は、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる指標として、2016年に金融庁により公表されました。

(2) 創業・新分野進出・成長分野の取組み



事業再構築補助金の採択支援

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、当面の事業環境や経営状況が厳しい中、当金庫は新たな事業への転換等を支援する事業再構築補助金の活用支援に積極的に取組んでいます。その結果、同補助金採択支援数では、当金庫は公表されている第1回から第8回までの公募で岐阜県下の認定支援機関※で最大となる321件の採択支援を行っております。

※中小企業支援に関する専門知識や実務経験が一定水準以上であると国の認定を受けた金融機関や税理士等の支援機関

事業再構築補助金 第1回から第8回 当金庫支援先の採択数

| | [件] |
|-----------|------------|
| 第1回 | 29 |
| 第2回 | 45 |
| 第3回 | 22 |
| 第4回 | 37 |
| 第5回 | 63 |
| 第6回 | 47 |
| 第7回 | 36 |
| 第8回 | 42 |
| 合計 | 321 |

(3)海外業務サポートの取組み



海外ビジネスセミナー「タイビジネス～コロナ禍の投資動向とタイの現状～」を開催

当金庫は2022年6月、タイのTMBタナチャート銀行との共催により、海外ビジネスセミナーを、オンライン形式で開催いたしました。本セミナーは、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めず、各国で渡航制限・行動制限が敷かれているなか、現地情報の収集に悩むお取引先企業向けに、タイの投資トレンドや最新のビジネストピックス等を発信することで、海外ビジネスを支援するものです。

今回は、当金庫が業務提携しているTMBタナチャート銀行および当金庫バンコク駐在員事務所から、現地最新事情やニュースでは聞けない生の声をお届けいたしました。このような現地からのレポートは、コロナ禍、現地事情の把握が困難な企業の関心が高く、当日は、お取引先企業をはじめ、多くの事業者が参加されました。当金庫は、今後も海外に関するセミナー等を通じて、お取引先企業の海外販路開拓等多様化する海外ニーズに対応してまいります。



スワンブーム空港の様子



市場の様子

海外個別相談会を開催

当金庫は2022年10月、2023年2月に、多様化する海外ニーズに対応するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構の専門家をお招きし、「海外個別相談会」を開催いたしました。本セミナーは、アフターコロナを見据え、海外への渡航が活発化するなか、販路開拓や生産委託、現地法人設立等を検討するお取引先企業の支援を目的に実施したものです。当日は、専門家と直接面談の形式で相談ができたことから、非常に有意義な相談会となりました。今回は、主に中国、アセアン諸国向けを対象に開催しましたが、今後、対象国を広げ、開催回数を増やしていくことで、お取引先企業の海外ニーズに柔軟に対応してまいります。

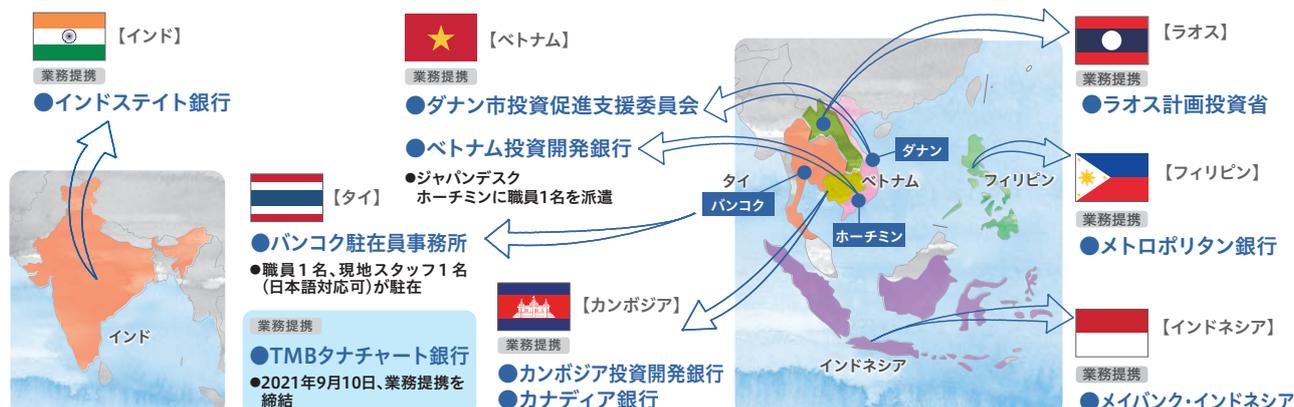
当金庫の海外拠点および海外業務提携先

●バンコク駐在員事務所

バンコク駐在員事務所では、タイに進出中、もしくは進出を検討しているお取引先企業に対し、市場動向や投資環境などの現地情報を提供しております。また、ビジネスマッチングの活用により、現地での事業展開をサポートするとともに、お取引先企業の海外販路の開拓など、多様化する海外ビジネスニーズに対応しております。

●外国政府機関や外国銀行との業務提携

当金庫では、お取引先企業において海外展開の対象とする国が広がりを見せるとともに、輸出入や販路開拓など、海外ビジネスニーズが多様化していることを受けて、海外現地でのサポート体制を拡充しております。現在、ベトナムやカンボジア、インドなどの外国銀行と業務提携を結んでいるほか、ダナン市投資促進支援委員会（ベトナム）やラオス計画投資省といった政府機関とも業務提携を結んでおり、海外からの企業誘致・投資促進などで政府レベルでの支援が提供できる環境整備にも取り組んでおります。今後も、外国政府機関や外国銀行との業務提携を検討していくことで、お取引先企業の海外進出、海外展開をサポートするための環境整備を一層進めてまいります。



(4) 事業承継への取組み



地域の事業や雇用を守るための取組み

中小企業の経営者にとって、後継者問題は大きな経営課題となっています。経営者の平均年齢は60歳を超え、後継者がいる場合でも事業を引き継ぐ際にはさまざまな問題に直面するケースが多くなっています。

当金庫では、事業承継という企業経営の大きな節目に際して、地域金融機関としての長年の経験とネットワークを活かし、それぞれの企業に合った事業承継のあり方をオーダーメイドでご提案し、企業の持続的な発展をお手伝いいたします。

(5) 事業再生支援への取組み



当金庫ではお取引先企業ごとの経営課題を理解した上で、最適なソリューションを提案し、その実行支援を通じて課題解決に資する事業再生支援の取組みを行っています。

資金繰り支援に加え本業支援の実施により、事業再生支援を行った事例

給食、弁当、食材卸を営むA社は、同業他社との競争が厳しく薄利な上、多額の借入金返済という課題を抱えておりました。また最近では、コロナ禍に加え、原材料・燃料等の高騰により、経営はさらに圧迫されておりました。

当金庫は、資金繰り支援のみでは事業継続が厳しくなり、本業支援にも着手することが急務であると判断しました。そこで、本業支援に実績のあるコンサルティング会社と協調して支援することとし、当金庫およびコンサルティング会社が経営会議・営業会議にオブザーバー参加する中で、収益拡大策として、販売先の拡大、製造工程・配送ルートの見直し等を提案してきました。その上で、経営陣のみならず、従業員に至るまで経営改善の必要性が浸透するよう働きかけました。こうした一連の取組みにより、従業員がそれぞれの立場で、自社の収益を意識した行動が出来つつあり、経営は徐々に改善しております。これからも当金庫はお取引先企業と課題を共有し、課題解決に向けた取組みを実施してまいります。

共通ベンチマーク1 「金融機関がメインバンク(融資残高1位)として取引を行っている企業のうち、経営指標(売上・営業利益率・労働生産性等)の改善や就業者数の増加が見られた先数(企業・事業者グループベース)及び同先に対する融資額」

| ベンチマーク(指標) | 実績 |
|--------------|---------|
| メイン先数 | 9,140先 |
| 与信先数 | 14,872先 |
| (全与信先に占める割合) | 61.5% |
| メイン先の融資額 | 6,034億円 |
| 経営指標等が改善した先数 | 7,249先 |

共通ベンチマーク2 「金融機関が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況(企業・事業者単位ベース)」

| ベンチマーク(指標) | 条件変更先 | 好調先 | 順調先 | 不調先 |
|-------------|--------|------|------|------|
| 経営改善計画の進捗状況 | 1,396先 | 208先 | 534先 | 654先 |

※売上または償却前経常利益計画の達成率で分類(好調先:120%超、順調先:80~120%、不調先:80%未満)

(6) 経営者保証に関するガイドラインへの取組み



当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お取引先企業からお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お取引先企業との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

なお、2022年度に当金庫において、新規に無保証で融資をした件数は3,667件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は25.82%、保証契約を解除した件数は360件です。

「保証債務整理」については、当金庫をメイン金融機関として成立に至った経営者保証に関するガイドラインに基づくお申し出はありませんでした。

共通ベンチマーク5 「金融機関が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額、及び、全与信先数及び融資額に占める割合(企業・事業者単位ベース)」

| ベンチマーク(指標) | 先数 | 融資残高 |
|------------------------------|--------|---------|
| 事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高 | 3,854件 | 2,837億円 |
| 上記計数の全与信先数及び当該与信先の融資残高に占める割合 | 23.2% | 31.5% |

2. 地域経済活性化への貢献と地方創生の実現

(1) 地方創生と持続可能な社会の実現



金融リテラシー教育プログラム「ぎふしんマネーエデュ」の新規策定

現在、成人年齢引下げ、高齢化による社会保障の減少、資金決済方法の多様化などを背景に、金融リテラシー向上が課題となっています。この現状を踏まえ、教育プログラム「ぎふしんマネーエデュ」を新規策定し、金融教育支援を体系化し実施してまいります。

2023年2月に不登校特例校の岐阜市立草潤中学校において第1回目の「ぎふしんマネーエデュ」を実施いたしました。今後も当金庫経営理念と「ぎふしんSDGs宣言」に資する活動をとおして、地域との絆を深めてまいります。



ぎふしんマネーエデュの様子

第45回 お取引先社員研修会

当金庫は、例年3月～4月にかけて、お取引先企業の新入社員等を対象として、お取引先社員研修会を実施しています。2023年3月～4月に開催した研修会には226名の新入社員の方々が参加され、社会人として必要とされるビジネスマナーを身につけていただきました。

今回は、新たに受講者へ当金庫ファイナンシャル・アドバイザーが「ライフプランと資産形成」について金融リテラシー教育を実施いたしました。

当金庫は、お取引先企業に対する実効的な本業支援を通じて、地元中小企業の健全な発展のサポートに貢献してまいります。



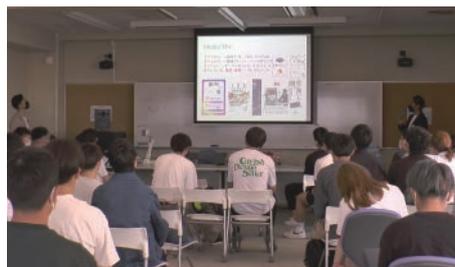
お取引先社員研修会の様子

ぎふしん金融教育 岐阜聖徳学園大学キャリアデザイン講座

岐阜聖徳学園大学との産学連携協定に基づき、「キャリアデザインII」(3年次開講科目)に参加しました。講師は、当金庫及び岐阜県信用保証協会が紹介した地元企業の経営者の方々と、この講座は、学生の多様な業界への興味喚起や、社会人基礎力の一つでもある「考え抜く力」の養成を目的としています。

学生は、講師から提示された企業現場のリアルな課題(ミッション)に対する解決策を少人数のグループで立案、その課題解決策を学期末の講義で講師に対してプレゼンテーションを行いました。

授業の最後には、学生の提案に対し、講師である地元企業の方々から講評をいただき、アドバイスや就活に向けてのエールを送りました。



岐阜聖徳学園大学キャリアデザイン講座の様子

(2)ぎふしん青年重役会の活動



しんきんの日合同講演会「講師:池上彰氏 / 演題:変わりゆく世界と日本 ~これから必要な覚悟~」

例年6月15日の「信用金庫の日」に合わせ、ぎふしん青年重役会と共催し「しんきんの日合同講演会」を開催しています。

2022年度の講演会は、講師にジャーナリスト・名城大学教授・東京工業大学特命教授・東京大学客員教授の池上彰氏を迎え、「変わりゆく世界と日本 ~これから必要な覚悟~」と題して、日本人の覚悟が問われるコロナ後の社会と企業経営を世界情勢と交えて解説していただきました。



しんきんの日合同講演会の様子

(3)地域経済の面的再生への関与



第7回 売り込みビジネス商談会

11月に、岐阜県下6信金・県下商工会議所、岐阜県信用保証協会、岐阜市信用保証協会と連携しオール岐阜体制のもと、第7回「売り込みビジネス商談会」を岐阜商工会議所と主催しました。サプライヤー企業とバイヤー個別商談方式にて、82件の商談を実施することができ、8割強が今後につながる商談となりました。商談会の当日は各ブースでサプライヤー企業が、真剣かつ熱意をもって自社商品を説明し、バイヤー企業に売り込む姿が見られました。

当金庫は、今後も地元事業者に対する本業支援を通じて、引き続き持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。



売り込みビジネス商談会の様子

岐阜・高島屋南地区市街地再開発事業「柳ヶ瀬グラスル35」

岐阜市の中心市街地活性化を目的として官民一体で取組んだ柳ヶ瀬地区の再開発事業が、構想から35年を経て2023年3月に完成しました。完成した35階建ての超高層複合ビルには、商業施設や都市型マンションのほか、岐阜市の運動施設や子育て支援施設が整備され、「新しい柳ヶ瀬のランドマーク」として、市民が集う場所となることが期待されています。当金庫はこの再開発事業に計画段階から主体的に関与し、事業資金支援に加えて、当地区の賑わい創出を目的とした街づくりに取組んできました。

同年4月には再開発ビルの完成を記念してグランドピアノ（愛称：GIFUSHIN YANAGASE STREET PIANO）を寄贈し、同時に開催した「みんなの音楽祭」では、小学生～大学生ら市民が出演した他、サプライズゲストとして人気ユーチューバーでピアニストの「ハラミちゃん」が演奏し、集まった市民を喜ばせました。当金庫は継続して岐阜市の中心市街地再開発事業に関与することで、豊かで潤いある街づくりに継続して取組んで参ります。



寄贈したグランドピアノとみんなの音楽祭の様子



柳ヶ瀬グラスル35

(4) 地域のお客さまとのイベント活動

幸せの共感で繋がる好循環サイクルの実現



第25回 むふしんクリーン作戦



6月に開催した「第25回 むふしんクリーン作戦」は、岐阜県・愛知県の観光施設や文化施設62カ所の清掃活動に約1,200名が参加しました。

また、2022年度の活動は、環境省と日本財団が実施する「海ごみゼロウィーク2022」とも連携し、「地域とともにすばらしい明日をつくる」を合言葉に、SDGsが目指す持続可能な地域社会の実現に向けて清掃活動を実践することができました。

Wood Go! ! 2022



8月に岐阜高島屋10階催事場および柳ヶ瀬商店街にて、木の面白さ、モノづくりの楽しさを体感して楽しさを学ぶ木育イベント「WoodGo!!2022」を開催しました。小学校高学年～中学生を対象とした木のお仕事体験ができるWoodland（ウッドランド）と、一般の方でも参加できるワークショップを開催しました。当金庫は、今後もこのような企画をととして、子どもたちのシビックプライドの醸成や、持続可能な地域社会実現に寄与してまいります。

第38回 マーチングバンド・バトントワーリング岐阜県大会



3年ぶりの開催となった2022年度の大会には、コロナ渦にも関わらず、岐阜県下の各学校から学生約400名が出場しました。学生たちは、日頃の練習の成果を華やかに調和のとれた演技で発表し、来場客を魅了しました。

当金庫は、スポーツを通して、地域の青少年の心身の健全な発達を促し、豊かで潤いある社会の実現に寄与してまいります。

第2回 めふしん杯こども将棋 岐王戦



第2回を迎えたぎふしん杯こども将棋「岐王戦」は、前回に引き続き岐阜県出身のプロ棋士高田明浩四段（岐阜県各務原市出身）をスペシャルゲストに迎え、大会を盛り上げるとともに岐王戦上位3人との指導対局を実施しました。昨年度以上にハイレベルな大会となった今回の大会では、随所で子供たちの熱い戦いが繰り広げられました。

当金庫はこの「岐王戦」を、岐阜の地において子どもたちの夢を育む大会に成長させるべく、今後も継続して支援していきます。

第28回 めふしんウィメンズラン (旧名称:ムーミンレディスマラソン)



3年ぶりに開催した2022年の大会は、大会コースを岐阜市の新庁舎前からのスタート、大会名を「ぎふしんウィメンズラン」にリニューアルしました。

当大会は、国内でも数少ない女性限定の岐阜市中心市街地を小学生も走行することができるコミュニティマラソンとして認知されており、2022年の大会も幅広い世代から867名の女性ランナーが参加し、秋の県都を彩りました。

当金庫はこの大会に対し、岐阜市の伝統事業として継続に関与することで、誰もが住みやすい都市の形成に寄与して参ります。

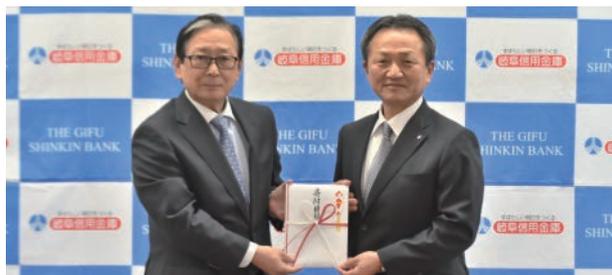
第52回 めふしん杯岐阜市学童 野球大会



青少年の育成を目的として開催する岐阜市内の学童野球チームによる少年野球大会です。11月に開催された決勝戦では「ぎふしん杯」を目指し、熱戦が繰り広げられました。

当金庫は子どもたちの未来と夢を育む活動を継続し、当地域における野球文化の裾野拡大に寄与し、子どもたちの未来を育む活動を継続して参ります。

めふしんSDGs私募債取扱開始による寄附



5月から取扱開始いたしました「ぎふしんSDGs私募債」は同私募債の理念に賛同いただけました企業さまが発行した私募債発行額に応じて、当金庫が発行額の0.1%相当分を寄贈するもので、同年9月発行額に応じて(公財)日本ユニセフ協会に寄贈いたしました。今後もSDGsの普及活動に努めるとともに、多様化するお客さまのニーズや課題に最適なソリューションをご提供することで、地域経済の発展に貢献してまいります。

めふしん収集ボランティア活動



地域貢献の一環として1997年4月より、地域のお客さまと当金庫職員ならびに関連会社職員が共に参加できる「収集ボランティア活動」を実施しています。今年度も「ぎふしんSDGs宣言」に基づき、コロナ禍においても、誰もが僅かな心がけで、身近にできるボランティア活動として展開し、収集した使用済切手・ベルマーク・書き損じはがき等を、(社福)岐阜県社会福祉協議会に寄贈いたしました。

めふしん愛の募金活動



岐阜市社会福祉協議会への寄贈



岐阜県医師会への寄贈

SDGsの理念のもと、2023年3月に岐阜県医師会を通じてコロナ最前線で活躍する医療従事者の皆さまにぎふしん愛の募金を寄贈いたしました。

また、地域の社会福祉のお役に立てていただくため、岐阜県・愛知県・岐阜市・名古屋市社会福祉協議会へも寄贈いたしました。

めふしんプレミアムコンサート



ぎふしんプレミアムコンサートの様子



ユニセフへの募金

地域の音楽文化の発展と、お客さまへの日頃の恩返しを目的として、「ぎふしんプレミアムコンサート～古澤巖ストラディヴァリウスを弾く～」を2月に岐阜市のサラマンカホールで開催いたしました。なお、会場で開催した「ぎふしん愛の募金」を、岐阜県ユニセフ協会を通して、(公財)ユニセフ「ウクライナ緊急募金」・「自然災害緊急募金(トルコ・シリア国境で大地震)」へ寄贈いたしました。

(5) 公益財団法人 ぎふしん記念財団の活動

豊かな町、美しい町、住みよい町を創造するために



【活動目的】 地域社会の活性化を図るため、公共的な活動及び助成をとおし、広く地域社会の健全な発展のために寄与することを目的とする。

「加藤栄三・東一記念美術館」の所蔵作品修復事業への助成

岐阜市歴史博物館分館 加藤栄三・東一記念美術館では、本画、素描、資料など5,000点近い加藤栄三・東一両画伯の作品を収蔵しています。公益財団法人ぎふしん記念財団は、これらの未公開作品の修復事業に助成を行い、市民の財産として広く公開する事業に継続的に取り組んでいます。当財団は、今後も地域の文化振興事業に積極的に関与し、持続可能な社会の実現に寄与してまいります。



加藤東一「達陀」スケッチ



寄贈の様子

岐阜市芸術文化奨励賞への助成

公益財団法人ぎふしん記念財団は、地域住民の福祉の向上、地域の文化・芸術の振興を目的とした事業及び助成を行っており、例年岐阜市芸術文化奨励賞の副賞を助成しています。当財団は同事業に対する継続的な助成をとおして岐阜市における芸術文化の裾野拡大に寄与してまいります。



岐阜市芸術文化奨励賞表彰式の様子

第45回 ぎふ健康ウォークへの助成

岐阜市民の健康増進を目的に、40年以上続く岐阜市内のスポーツイベントで、参加市民がチェックポイントを通しながら金華山を登山するイベントです。11月に行われたウォーキングには約680名の市民が参加しました。



ぎふ健康ウォークの様子

3. 地域やお取引先企業に対する積極的な情報発信

当金庫の地域密着型金融に関する各種取組みや実績を公表しています。

また、情報誌「ミニトーク」により経営に役立つ情報提供を行っております。



ミニトーク No.46



ミニトーク No.47



ミニトーク No.50



ミニトーク No.53



ミニトーク No.55

2023年度 地域密着型金融の取組方針

お取引先企業のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

地域経済活性化への貢献と地方創生の実現

地域やお取引先企業に対する積極的な情報発信

新商品・サービス

ぎふしんSDGs 私募債（子育て支援型）について

SDGs活動「今、私たちにできること」の第3弾として、「ぎふしんSDGs 私募債（子育て支援型）」を2022年10月より取扱開始しました。様々な境遇から苦しんでいる子どもやその家庭に対し「今、私たちにできること」を考え、寄付を通じ「子育て支援」を目的として取組むものです。お客さまが発行した私募債の発行額の0.1%相当額を当庫指定の市町村、地公体等に寄贈させていただいております。

今後も地域社会の一員である当金庫では、SDGsの普及に貢献する活動として、「今、私たちにできること」を考え、すべての家庭が安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で成長していくために、当商品をとおして子育て支援を積極的に取組んでまいります。

ぎふしん ESGローン

「より実効的なESGへの取組み支援」、「コンサルティング営業との相乗効果」、「取引先の持続可能性評価及び、課題解決推進」をコンセプトとして、脱炭素・省エネならびに社会課題の解決に寄与する事業資金に限定した「ぎふしん ESGローン」の取扱いを開始しました。地元中小企業のサステナビリティ向上支援を地域金融機関の責務と捉え、資金調達やコンサルティングサービスの両面から支援する融資商品です。

Big Advance専用マイカーローン

Big Advance会員の特典商品として、登録企業の経営者・従業員（パート・アルバイト含む）限定のマイカーローンを発売させていただきました。金利は購入車両や取引に関係なく一律とし、他の商品と比較しても低利の設定であるため、本ローンを従業員の福利厚生としてご活用いただいております。

お手続きをWebで完結できる「来店不要型」の商品であり、スマートフォンが普及した今日において、平日のご来店が難しいお客さまからもご好評をいただいております。



Big Advance専用
マイカーローンチラシ（表）



Big Advance専用
マイカーローンチラシ（裏面）

大型フリーローン・大型カードローンの申込み手続きのWEB完結化

大型ローンは、お使いみちの範囲が広く、多くのお客さまにご利用いただいている主要商品のひとつです。今般、非対面チャネルの充実化を目的として、「大型フリーローン」と「大型カードローン」について、ぎふしんアプリバンキング経由でのWEB完結型申込スキームを導入し、来店不要でご利用いただける商品とさせていただきます。

アフターコロナ期を迎え、お客さまの活動機会も増えて参りました。従来からの店頭でのお申込みも可能ですので、ご入用の際のご相談をお待ちしております。



大型ローンチラシ

投資信託の新商品の取扱開始

2022年10月3日、投資信託の新商品2ファンドの取扱いを開始しました。「あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加型、愛称：ぜんぞう2210）」は、日本を含む世界の株式および債券に広く分散投資を行う投資信託です。「しんきんS&P500インデックスファンド」は、米国の主要な株価指数に連動する投資成果を目指す投資信託です。

市場環境が不安定な中でも、お客さまの資産形成のお手伝いができるよう、分散投資と積立投資を提案できる商品であり、今後も投資信託のラインアップを充実してまいります。



ぜんぞう2210チラシ